タウンタウン小麦

発行 くまがや小麦の会
発行責任者 日向美津江
ホームページアドレス
http://www.kumagayakomuginokai.jp/
くまがや小麦の会 検索

くまがや小麦の会 since 2006
事務局 〒360-0801 埼玉県熊谷市中奈良1797-1
TEL. 048-521-0026

創刊に寄せて

勇気と本気で熊谷活性化

くまがや小麦の会会長
日向 美津江

わが町熊谷は本州一の小麦生産地。麦づくりに適した風土と、小麦生産技術の「麦踏み」「二毛作」などを確立した権田愛三（1850～1928年）の存在が大きい。その小麦を地産地消の食に繋げ、熊谷を活性化しようと4年半前に発足したのが「くまがや小麦の会」である。

プロフィール 昭和21年6月生まれ。昭和40年3月群馬県立前橋女子高校卒、昭和44年3月慶應義塾大学商学部卒、同年4月ライオン油脂興人社、昭和46年同社退社、昭和48年興平松入社、平成19年7月同社代表取締役会長就任、熊谷商工会議所女性会副会長、くまがや共同参画を進める会理事

はじまりは熊谷商工会議所女性会

今から4年半ほど前、熊谷商工会議所女性会で「熊谷の特色って何だろう」と素朴な議論になった。夏の暑さ、新幹線が停まる、気象台がある、立正大学がある、それとあったのですね、熊谷産小麦は全国有数の小麦の生産地。熊谷産小麦は中力粉の「農林61号」と、薄力粉の「あやひかり」が主力。既に産業として定着しているうどん以外の製品で「小麦で町おこし」と議論は白熱していった。

たまたま家業が原材料、食品の卸売、研究所には業務用オーブン、ミキサーが眠り、幸いにも活動の拠点にもってこいの条件が揃っていた。地元熊谷を大切に思い、パン、お菓子作りに興味に覚えある主婦たちが地粉パン作りを始めた。グルテンの少ない熊谷産小麦にハイグルテンを2％加え、試行錯誤しながら地粉パンを作り上げた。熊谷市農業振興課、JAくまがやの協力を得て熊谷産業祭に出店。これが「くまがや小麦の会」の第1歩となった。試食販売、アンケートの90％が美味しい、麦の香りが良い、との声に確かな手応えを感じた。その後、ラム酒ドライフルーツを通常の3倍使用の実だくさんのパウンドケーキが誕生。熊谷市企画課、市民活動推進課のお力添えのもと、熊谷産小麦（あやひかり100％）でのサブレ（くまサブレ）、あつぺえサブレ、ニャオざねサブレ）を製品化することができた。会員で構成された製造部は新製品作りに主婦の視点とアイデアでトライしている。

地域社会と共に

当会の運営組織は、市民活動団体が地元活性化に繋がりはしないか模索している。そんな中から、ラグビータウン熊谷をイメージして今回「ラグビーサブレ」を新発売する運びとなった。製品の配達を知的障害の支援団体からの申し出を頂き、協調することも出来た。

四季折々の地元催事に参加したり、PTAや養護施設へ出前講座をしたり、ホームグラウンドの平松研究所でも一般市民を対象に講習会を開いている。埼玉県製菓専門学校の全面的バックアップの「地粉で作るクリスマスケーキ講習会」は、プロの先生方の手ほどきを受けられる当会のハイライト講習会となった。

当会の規約に「埼玉県1位の小麦の産地である熊谷の地粉を、地産地消の推進により地元への消費を促す活動を行いながら、食文化を通じ快適な生活をする事を目的とする」と唱っている。本来の目的は小麦で在る必要もなかったかも知れない。地元を愛する事が出来る、自分以外の周囲に心を通わせる事が出来る、自環境が育つ事を目的としたい。

今ほど地域が一から出直す覚悟を強いられる時はないと思っている。

タウン誌名称のいきさつ

「タウンタウン小麦」何気かで聞き覚えがある名称、永きに亘り熊谷市民のタウン誌として活躍した「朝日新聞タウンタウン熊谷」が休刊となり1年余、発行人であられた岩田豊司郎氏にご了承を頂き、今回の発刊となりました。

「タウンタウン熊谷」の名跡を心得て、「タウンタウン小麦」が「くまがや小麦の会」情報誌」の枠を超え、何時の日かタウン誌としてぜひ一度訪れてほしい。

春爛漫
幕末の志士　友山を訪ねて

昨年末、約500万円4ヶ月で修復が完成した長屋門

根岸家長屋門と言えば知る人ぞ知る名跡。ここで毎年恒例の「友山まつり」が開かれている。

この祭りのきっかけとなったのが「根岸友山・武香顕彰会」主催の大里地域の町おこしで開いた特別展だった。ひと月の展示期間に全国から2千名が足を運んだ。それからというもの毎年こうして自宅を開放し祭りを開いている。

直実のルーツを持ち、名主の家に生まれた根岸友山（ゆうざん）は幕末維新新選組浪士組の志士であり、文武に優れ、私塾「三余堂」を設立し子弟を教育した。

根岸家は、江戸から遠く関東の北にありながら、常にこの国の動きの最新情報が手の内にあった。それもそのはず東京大学の前身である昌平黌（しょうへいこう）にいる佐久間象山の下へ通う長州藩士・久坂玄瑞や薩摩藩士など幕末の志士の定宿でもあったからだ。当時の根岸家は3百石の酒屋。志士たちに酒をふるまい、こづかいも与えていたという。また友山は、近隣23カ村の名主をまとめ、今でいう公共事業費を幕府から3千両引き出し、和田吉野川の氾濫を修復。この地の治水を守った。

友山の次男・武香（たけか）は地方行政に力を注ぎ第2代埼玉県議会議長を務め、後に貴族院議員となった。日本考古学の草分け的存在としても知られる。

「幕末に村のため日本の行く末のために、この地で側面から援助して明治の時代に導いた功績を知ってほしい」と17代目根岸友憲さん。「友山」の一字を名前にもらった友憲さんにもまた、代々、面倒見の良い篤志家の精神が受け継がれている。ぜひ一度訪れてほしい。（K）

CONTENTS
1P 創刊号あいさつ 日向美津江
春爛漫 根岸友山を訪ねて
2P～3P ラグビータウン熊谷特集
JOC委員勝田隆さん 熊谷不疑倶楽部・吉田嘉高さん
熊谷工業高校ラグビー部 堀越正己さん 松浦紀一さん
4P あの町この店
イベント GLOBE会社紹介
事務局から 編集後記

次号のお届けは 6月14日になります。

編集室 TEL048-521-0026 FAX048-521-7900

GLOBE 会社訪問

国産小麦の豊かな風味を守る

日東富士製粉
埼玉工場・関東営業所

まもなく創業100年

日東製粉の創業からまもなく100年。製粉業界大手として、また三菱商事グループの東証一部上場企業として食生活の基盤を支えてきた日東富士製粉株埼玉工場を訪ねた。ここは熊谷市御稜威ケ原の工場地帯の一角に構えるが、ひと昔前は熊谷駅東口のショッピングセンター「ニットーモール」にあった。

日本の米の自給率がほぼ100％なのに対し、小麦の自給率は14％。主に麺用などの食品に使われ、パン用小麦の自給率はわずか1％だという。ここ埼玉工場は土地柄、製粉の約50％に国内産小麦（内麦）を使用している。

内麦と外麦の違い

内麦の繊細な味わい、豊かな風味は格別だ。熊谷産小麦「あやひかり」で作るサブレはさっくりと口どけ感も良い。

「農林61号」は小麦の味がするパンに仕上がる。さらに内麦は、ポストハーベスト農薬の観点から見ても、安心・安全であることは言うまでもない。

一方、オーストラリア産の「ASW」は色艶はきれいだが風味に物足りなさが残る。だが、価格で言うと外麦に比べ内麦は約20％高になる。外麦トン約4万6千円に対し、国内産小麦は約5万4千円という具合だ。

小麦の価格高騰は？

ここ最近、報道でよく耳にする来年以降の小麦の大幅な値上げは、ロシアの干ばつやオーストラリアの大洪水など天候不順による影響、新興国の輸入拡大、金融緩和による投機マネーの流出が大きな原因で、シカゴ穀物相場が上昇している結果によるものとか。

「懸念されるのはTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）による関税撤廃である。食品業界全体の問題であり、小麦粉使用加工メーカーに及ぼす影響は計り知れないと思います。が、農業も含めて強い食品業界を作ることが重要課題だと思います」と伊藤之入所長は話す。

バスタやうどん、パン、お菓子など美味しい小麦粉は毎日の食卓にかかせない。地産地消が叫ばれる中、グローバル社会で自給率にこだわる理由を今一度考えてみたいものだ。（K）

事務局から

去る1月29日、くまがや小麦の会第五回定例総会が開催されました。昨年度事業報告及び監査報告、今年度事業計画、収支予算について、また、新運営委員の承認が行われました。また、当日のゲストスピーカーとして松浦紀一市議会議員を招き、熊谷市の現状のお話を聞きながら、菊亭にて会食。旬のお料理を楽しみながらの和やかな会となりました。

今年度は、ラグビーサブレ新発売でスタートです。季節のバウンドケーキも充実させて参りますので、どうぞお楽しみに！

小麦の会製品は、市内直売所の他、平松研究室でもお買い求め頂けます。製造見学も出来ますので、お気軽に事務局までお問い合わせ下さいませ。（R）

編集後記

◆一年ぶりの記者業再開です。充電期間の後、一気に訪れた活動期!?いろんな活動に足を突っ込みつつ、当誌に携われることに感謝して頑張ります！（Y）

◆一部を除く広告は私作。ワクワク感いっぱいで作ったものが紙面に載ると、とても嬉しい！当誌は当会のお菓子と同じ、会員の手作りです！（R）

◆小さい頃は友達と遊んで遊びぬくと新野監督、様々なスポーツ経験が後々生きると堀越監督と勝田氏も。良きラガーマンは良き教育者だとあらためて実感しました。（O）

◆生まれたての弊誌を手に取りご覧くださいましてありがとうございます。今後、季刊誌として地域の情報を発信していく予定です。発行責任者をはじめ、編集室スタッフはパワフルな女性ばかり5人。読者の皆さま、どうぞよろしくご贔屓に！（K）

あの町この店

生産者の姿を感じる「安心」

JAくまがや ふれあいセンター江南店

熊谷市植木155
（旧熊谷東松山有料道路沿い 熊谷大橋そば）
℡048-536-4445
営業時間9:30～18:00
（1、2月は17:30まで）
無休（年末年始を除く）

一日平均400～500人、多い時には600人もが、開店直後からひっきりなしに訪れる、JAの産直「ふれあいセンター江南店」。地元農家の野菜が、商品の約6割を占めている。

筍（4月前後）、大粒の生ブルーベリー（6月下旬～）、トウモロコシや栗など、地元産の季節の特産品や、摘みたての果実を使ったジャムなどの加工品も人気の品。商品に貼られた生産者ラベルや、並んだ野菜に添えられた手書きの商品紹介などに、ホッと安心感が増す。

小麦の会製品も、くまサブレを中心に広くお買い求め頂いており、江南地区での浸透が感じられ、ありがたい限り。

地産地消の精神の促進、新鮮で安全な野菜を求めたい消費者にとって、直売所は魅力的！肥沃な大地に育まれた品で、食卓を彩ってみませんか。（Y）

季節限定
スタープレッド くまがや桜
桜の葉の塩漬けを刻んでいれた、春の香りいっぱいのパウンドケーキ。
1本 1,200円（税込）

くまがや小麦の会 常設販売所

八木橋百貨店	℡048-523-1111
JAくまがやふれあいセンター箱田店	℡048-522-2587
JAくまがやふれあいセンター江南店	℡048-536-4445
熊谷市役所市民食堂	℡048-524-1111
農林公園直売所（地粉パン常設）	℡048-583-2301
イタリアンレストラン オリーブ	℡048-588-2317
西友熊谷店	℡048-526-6661
セブンイレブン市役所前店	℡048-525-4077
セブンイレブン伊勢町店	℡048-525-3085
セブンイレブン銀座3丁目店	℡048-521-8600
ニューデイズ熊谷店	℡048-527-3960
ニューデイズ熊谷店ミニ	℡048-528-4737
ニューデイズ籠原店	℡048-530-6385
道の駅めぬま メロード（地粉パン 金曜夕方・土曜・日曜）	℡048-567-1187
シネティアラ21	℡048-599-2222
パリスパン店	℡048-522-3388
コッペリア	℡048-527-0180

イベント出店予定

ぜひ遊びに来て下さいね！

3/27（日） 熊谷さくらマラソン
3/18（金）～21（月）八木橋（B１特設会場販売）
4/1（金）～7（木）全国高校選抜ラグビー大会
※試合日程
1、2日：予選リーグ 4日：準々決勝（11時から4試合）
5日：準決勝（12時～、13時15分～）
7日：決勝（13時～）
4/1（金）～4（月）フローラルフェスタ（駅コンコース販売）
4/23（土）・24（日）妻沼手づくり市
4/30（土） 友山まつり

会員募集しています！

「くまがや小麦の会」の一般会員数は、現在87人。パン、パウンドケーキ、サブレ、シュトーレンなどを製造・販売しています。

「地産地消」「地元活性化」「ライフワーク、生涯学習の実現」が活動の目標！ご賛同・ご支援いただける、賛助会員・一般会員を募集しております。

詳細は、1面記載の連絡先にお問い合わせ下さい。お待ちしています！

昨年の「熊谷市産業祭」にて